

笠間市へふるさと納税

をしませんか

ふるさと納税は、応援したい自治体に寄附ができる制度で、これまで多くの方から笠間市に寄附をいただき、さまざまな取り組みを進めることができました。

「ふるさと納税は他の自治体にするもの」というイメージがありますが、笠間市民の方が地元自治体である笠間市にふるさと納税（寄附）をすることもできます。

そこで、今回は市民向けふるさと納税に関する情報を紹介します。



笠間市民



ふるさと納税制度とは？

生まれ故郷や応援したい自治体に「寄附」ができる仕組みです。自治体にふるさと納税をした場合、寄附額から2,000円を除いた金額が、所得税や個人住民税の控除対象となります（一定の上限あり）。

ふるさと納税で笠間市を応援してください！



笠間市民の方が笠間市にふるさと納税（寄附）をしていただいた場合も、寄附金控除を受けることができます（国の制度上、返礼品を贈呈することはできません）。

地元笠間市への寄附は、住民税として納めていただく以上に、市の純粋な収入増につながり、財政運営上、大きな効果があります。

また、ふるさと納税の使い道（施策）を選択することで、関心がある市の施策に自身の意見を反映することができ、笠間の未来への投資にもつながります。将来世代に負担を先送りすることがない健全な財政運営を行うため、収入（財源）確保策の一つとして、笠間市民による笠間市へのふるさと納税（寄附）をよろしくお願いいたします！

ふるさと納税の使われ方



笠間市では
このように利用されています！

いただいた寄附は「元気かさま応援基金」に充てられ、寄附をする際に指定された施策に使われます。

また、ふるさと納税型クラウドファンディングとして、より具体的な施策を支援できます。

まちづくり支援事業

- 市民活動助成事業
 - 商店街活性化事業
 - 国際化戦略事業
- など



子ども支援事業

- 地域医療センターかさま病児保育事業
 - 子育て世代包括支援センター事業
 - 子ども総合育成支援事業
- など



芸術文化支援事業

- 全国こども陶芸展推進事業
 - 芸術鑑賞事業
 - 筑波海軍航空隊展示運営事業
- など



伝統の「県下中学校交歓笠間市駅伝大会」を盛り上げたい♪

「使い道に共感しふるさと納税を利用して行うクラウドファンディング」

1964年の東京オリンピックの年から始まり、60回の長きにわたり開催されてきた新春を彩るこの駅伝大会を支援して、未来の箱根ランナーを皆さんで育みましょう！

募集期間

11月1日～
12月31日まで





ふるさと納税について教えて！

Q ふるさと納税の寄附金控除が受けられる人は？

A 寄附金控除の条件を満たす方（所得税や住民税（所得割）を納めている方）が対象です。
給与収入が100万円以下の方など個人住民税の所得割が非課税の場合は、寄附金控除を受けることができません。

Q 自分はいくらまでふるさと納税できるの？

A ふるさと納税額（寄附金額）に限度はありません。
ただし、寄附金控除を受けるにあたり、自己負担2,000円でふるさと納税できる上限額（控除限度額）は、収入や家族構成により異なります。ご自身の限度額を調べたい方は、「ふるさと納税ポータルサイト」等をご利用ください。

Q 具体的な手続き方法は？

A 本所税務課・各支所地域課の窓口で受け付け後、納付書またはクレジットカード等（本所税務課のみ）でお支払いください。
インターネットからは、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」でお申し込みください。

<ふるさとチョイスでの申し込み>

- ① 検索サイトで **笠間市 ふるさとチョイス** 検索
- ② 「ふるさとチョイス」のサイトから「地域でさがす」→「茨城県」→「笠間市」

右の二次元コードから寄附金額を入力していくと、「ふるさとチョイス笠間市お礼の品不要の寄附」のサイトへ繋がります。



お礼の品なしの寄附
“「お礼の品」不要の寄附をする”をクリック！

税の控除を受けるには、寄附金受領証明書を添付して確定申告をする必要があります。

※確定申告は、スマートフォンでも可能な「e-Tax」が便利です。
詳しくは、国税庁のホームページをご覧ください。

※ワンストップ特例制度もご利用いただけます。



e-Tax



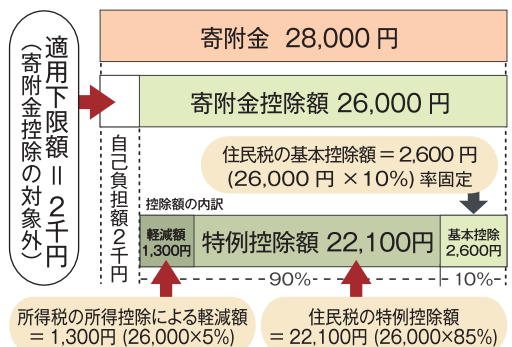
国税庁



ワンストップ特例制度

寄附金控除のイメージ

給与収入300万円、扶養親族なし、
社会保険料等45万円としての計算例
(28,000円以下のふるさと納税(寄附額)であれば、自己負担額は2,000円となります。)



寄附金手続きの流れ

